

国が中津川の2社表彰

加藤製作所、サラダコスモ

高齢者や女性を生かして業績を上げた企業を表彰する国の「ダイバーシティ経営企業百選」と、「がんばる中小企業・小規模事業者三百社」に、中津川市の企業が選ばれた。

(平野誠也)



百選に入ったのは、駒場のプレス板金加工業「加藤製作所」、三百社に選ばれたのは千旦林の発芽野菜メーカー「サラダコスモ」。加藤製作所は二〇〇二年から六十歳以上のパート社員採用に取り組み、従業員百六人の

うち、六十歳以上は五十四人を占める。技術指導や働きやすい職場づくりを進め、〇七～一二年の六年間で取引先が十四社増加。売上高は年平均七千万円伸びた。サラダコスモは〇六年に市内の休耕地などを使い、ヨーロッパ産野菜チコリの国内初の大量生産を開始。運営する千旦林の観光生産施設「ちこり村」には昨年、二十八万人が訪れた。七日、加藤製作所の加藤景司社長(五三)、サラダコスモの中田智洋社長(六三)が市役所で青山節児市長に表彰を伝えた。加藤景司社長と中田智洋社長は中津川市役所で

躍できるようにした。県内では百選に大垣共立銀行(大垣市)、三百社にはセントラル建設(恵那市)など四社も選ばれた。

青山節児市長(中)に表彰を伝えた加藤景司社長(左)と中田智洋社長(右)が中津川市役所で

「高齢者がますます活